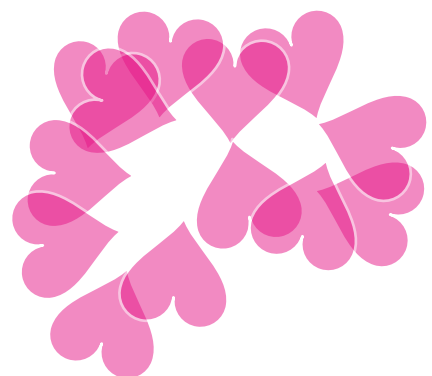



1 歲兒



【1歳児】

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が安定し、でこぼこ道を歩いたり、低い段を上り下りしたり、またぐ、くぐる、しゃがむ等の全身運動を活発にする。 ・つまむ、握る等の手指を使った遊びを喜び、身の回りの様々な環境に興味をもつ。 ・身近な大人との関係の中で、愛情を示すようになり、安心して自分の思いを身振りなどで伝えようとする。 ・感覚運動、探索運動が盛んになり、押したり引いたり、出したり入れたり等繰り返している。 ・一語文を反復したり、問い掛けが多くなったり、大人との簡単な対話を求めたりするようになる。 ・大人とのやり取りの中で、繰り返しの言葉や意味のある音を出して遊ぶ。 ・知っている人、知らない人が分かり、人見知りをする。
<p>情緒の安定 生命の保持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行の確立により、行動範囲が広がるために安全な環境を整える。 ○子どもの興味や気持ちに寄り添いながら、子どもが自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。 ○一人一人の子どもの発育や発達状態を的確に把握する。
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎新しい環境に慣れ、安心して過ごす。 ◎生活や遊びの中で、身近な人と関わり、愛情や心地よさを知る。 ◎身近な環境や自然に親しみ、様々な探索活動を楽しむ。 ◎保育者や周りの子どもとの関わりの中で、簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ◎生活や遊びの中で、体の諸感覚の経験を豊かにし、様々な感覚を味わう。
<p>内容 健康 人間関係 環境 言葉 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、手づかみで食べたり、スプーンを使ったりして、自分で食べようとする。 ・安心して自分の気持ちを表し、機嫌よく過ごす。 ・走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びをするようになる。 ・保育者や周囲の子ども等との安定した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。 ・身の回りの様々な人がいることに気付き、徐々に他の子どもと関わりをもつて遊ぶ。 ・探索活動の中で、見る、聞く、触れる、嗅ぐ、味わう等の感覚に気付く。 ・身近な生き物に気付き、親しみをもつ。 ・指さし、身振り、片言、二語文等で思いを伝えようとする。 ・親しみをもって日常の挨拶に応じる。 ・絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして遊ぶ。 ・歌を歌ったり、保育者とリズムに合わせてたりして、体を動かして遊ぶ。 ・水、砂、土、紙、粘土、片栗粉粘土、小麦粉、寒天など様々な素材で感触遊びを楽しむ。 
<p>環境 構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた雰囲気の中で、自分で食べようとする気持ちを大切にしながら、一人一人の量や食べ方に合わせて食事ができるようにする。 ・排泄のタイミングを見て誘いながら、無理強いせずオマルや便器に慣れていけるようにする。 ・自分の意思で安全に歩けるように、体を動かす場や機会を十分に確保する。 ・くぐったり、登ったり、すべったり、転がしたり等全身を使う遊具や、はさんだり、入れたり、動かしたりする玩具や素材を用意する。 ・見立て遊びができる生活用具や玩具を十分な数を用意する。 ・安全な環境の中で、散歩に出かけ、自然物を見たり、触れたりする機会を多くもつ。 ・安全に配慮しながら遊びの中に可塑性のある素材や物を用意し、感触を楽しめるようにする。 ・生活や遊びの中で、子どもの好きな手遊びや歌を繰り返し歌い、リズムや言葉、身振りができる場や雰囲気を整える。
<p>の 連携 家庭 ・ 地域と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートや送迎の時間を利用して、園での様子を伝え安心感をもってもらう。 ・家庭や園の様子を伝え合いながら、食事、睡眠、排泄、遊び等の生活リズムを整えることが心身共に安定した生活につながることを理解し合う。 ・散歩や行事を通して、地域の方と触れ合うことのできる場をもつようにする。 ・「自分でやりたい」ことが成長の過程であることを伝え、子どもの気持ちを受け止めて、ゆとりをもった関わりができるよう、共に考える。

伊丹市が大切にしたいこと



愛情

尊い命と異なる個性とのふれ愛

保育者の援助

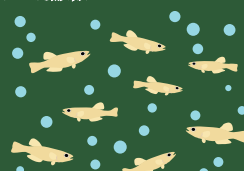
- ゆったりとした雰囲気の中で園生活を送り、一人一人の状態に応じた落ち着いた環境の中で生活を送る。
- 子どもが自分でしようとする気持ちを尊重しながら、生活習慣が身に付くようにする。(待つこと、さり気ない援助)
- 人に対して親しみをもって関わるができるように、触れ合い遊びやスキンシップを通して、愛情豊かに応答的に関わる。
- 探索活動の中で、好奇心や探求心が十分に満たされるように見守る。
- 達成感を感じたタイミングをとらえ、アイコンタクトや温かいまなざしを送り、受容することで自尊感情を育む。
- 子どもの表現(表情・身振り・手振りなど)を積極的に受け止め、感性豊かに子どもの思いに共感する。
- 思い通りにいかないことや不快な思いを表現している姿を愛情をもって十分に受け止め、安心して表出できるようにし、立ち直る経験や感情のコントロールにつながるようにする。

自然

身近で豊かな自然とのふれ愛

自然とのふれあい

- ★ 戸外や散歩に出かけ、身近な自然に触れる。
- ★ 探索活動を楽しみ、外界に対する好奇心や関心をもつ。
- ★ 身近な生き物を見る、眺める、触るなどして気付く(ダンゴムシ・チョウ・カタツムリ・メダカなど)
- ★ 季節の草花に気付いたり、感じたり、触ろうとする。
- ★ 水の流れや水たまり、砂、泥などの気持ちよさや開放感を味わうことを好む。
- ★ 落ち葉や木の実を集めて、ポケットに詰めたり、手に握りしめたりして楽しむ。(夢中になる)
- ★ 日差しの心地よさ・暖かさ・暑さやまぶしさ、風の強さ・気持ちよさ、雨など自然現象を五感を通して感じる。



ことば

豊かで美しいことばや表現とのふれ愛

言葉や表現とのふれあい

- ◆ 大人との言葉のやり取りの中で、繰り返しの言葉や音を出す。(一語文から二語文へ)
- ◆ 簡単な挨拶をしたり、名前を呼ばれると返事したりする。(ありがとう、ちょうだい、お返事ハイ!)
- ◆ 自分のしたいことやしてほしいことを言葉やしぐさで伝えようとする。
- ◆ 身近な音楽に親しみ、それに合わせて体を動かす。
- ◆ 親しみのある歌や音楽が聞こえてくると、体を揺らす。
- ◆ 手遊びやスキンシップ遊びを喜ぶ。
- ◆ ごっこ遊びをして、食べるまねや飲むまねなど生活の中の見立てを好む。



【絵本】

- ・「どうぶつのおやこ」 作：やぶうち まさゆき
- ・「たまごのあかちゃん」 作：神沢利子
- ・「かくれんぼ」 作：せなけいこ
- ・「しろくまちゃんシリーズ」 作：わかやまけん
- ・「どんどこももんちゃん」 作：とよたかずひこ
- ・「きんぎょがにげた」 作：五味太郎
- ・「もこもこもこ」 作：谷川 俊太郎

【歌】

- ♪大根によきによき
- ♪バスにのって
- ♪バンダうさぎコアラ
- ♪おすわりやっせ いすだっせ
- ♪きゅうりがキュッキュッキュ
- ♪一本橋こちょこちょ

おすすめ！ 植物遊び② ～1歳児～



いろいろな葉っぱに触れて、集めたり、ちぎったり、もんだりしながら植物の匂いや感触を感じます。

葉っぱの種類によっては、ちぎると香りがする物、パリッと音がする物、ザラザラ、ツルツル、様々な感触が異なります。

1歳児は、自ら触れて、様々な感触を味わい、楽しめます。